



## 「出逢い」

静岡県養護教諭研究会  
幹事 名倉 宏美

「その時の出逢いが人生を根底から変えることがある よき出逢いを」という相田みつをさんの詩がとても好きです。今まででも多くの出逢いを重ねてきて、そこから様々な発見や影響を得て今の自分があると感じます。静岡県養護教諭研究会の幹事を引き受けたこと、また、この仕事を通して得た出逢いは、今後あらゆる場面で大きな意味をなしていくのだろうと強く感じています。

2年間、「養護教諭実践事例集 15」の編集委員として、貴重な経験をさせていただきました。苦労したこともたくさんありましたが、終えてみれば充実感と達成感でいっぱいです。そして、惜しみなく貴重な実践事例を提供していただきました養護教諭の先生方、編集を共にした先生方との出逢いは、私にとってとても大切なものとなりました。ありがとうございました。

今回の事例集は、企画する際のアイデアはもちろん、実践において大切な“学校内外とつながる力、発信する力、深める力”を発揮するヒントがたくさん散りばめられています。ぜひ御活用いただければと思います。

私は、今まで養護教諭として「様々な人とつながること」を大切にしてきました。その意義を今回の事例集の編集という仕事を通して、改めて実感しました。これからも様々な人とつながり、コーディネートできる養護教諭を目指したいと思います。



## 地区紹介 静岡地区

静岡地区は葵区・駿河区・清水区の3区からなり、140名の会員で組織されています。

「生きる力と豊かな心を育む健康教育をめざして」を研修テーマとして取り組んでおり、市の全体研修は年間3回あります。8月には「がんに関する基礎知識とがん教育の大切さ」について静岡県立大学特任教授の若林敬二氏、「保健教育の在り方～がん教育を含む～」について文部科学省食育課健康教育調査官の森良一氏から講演をいただきました。

また、10月には「これからの養護教諭に求められる力」について金沢大学人間社会研究域学校教育系教授の河田史宝氏から講演をいただきました。12支部に分かれての支部研修も年間9回前後行われ、本年度は静岡型小中一貫教育実施に向けての研修への取組が多く見られました。

さらに、3年前より養護教諭リーダー研修が行われています。本年度は「がんについて学ぼう」というテーマで静岡病院がん相談支援センター長・診療部長の前田明則医師と静岡市立清水興津中学校の中村綾養護教諭によるTTの学級活動が公開されました。



# 冬季研修会報告



12月15日に静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」にて、冬季研修会が開催されました。午前には、養護教諭実践事例集15の監修を務めていただいた静岡大学教育学部教授鎌塚優子氏をお迎えし、「養護教諭に必要とされるダイバーシティ・マネジメントの力ーチームづくりの本質とはー」と題して講演をいただきました。

午後は、フォーラム「学校保健委員会が学校、そして地域を変える～つながろう、ひろげよう、ふかめよう～」をテーマに発行されたばかりの養護教諭実践事例集15の中から実践事例の発表やグループワークを行いました。講演の様子とフォーラム参加者の感想をお伝えします。



## 午前 講演



「養護教諭に必要とされるダイバーシティ・マネジメントの力ーチームづくりの本質とはー」

静岡大学教育学部 教授 鎌塚 優子氏

これまでの同一的な生き方や価値観に縛られる社会から多様な背景の人々の個性が尊重され協同する社会に変化している。学校でも同様に、『多様性の最前線』にある保健室にいる養護教諭は、ダイバーシティ(多様性)に対応する感性が必要であるということ学んだ。



## 午後 フォーラム第1部 実践発表の感想

\*実践内容は、事例集15を御覧ください。

### ①全校でのぞむ学校保健委員会

「十人十色の七中の子

～人を理解するってどういうこと～

静岡市立清水第七中学校 本間江理子養護教諭

- ・養護教諭の熱い思いが伝わってきた。
- ・学校保健委員会から発信し、生徒会活動につなげているところが素晴らしい。
- ・単年でなく継続した学校保健委員会にすることで課題解決につながると感じた。

### ②校区合同で行う学校保健委員会

「ぐっすりナイトでいきいき生活

～メディアを考えよう～

沼津市立愛鷹中学校 塚本あかね養護教諭

- ・参加しやすい資料作り、協力しやすい組織作りなど校区での学校保健委員会は工夫が非常に大事だと思った。
- ・計画をきちんと立てることや1年ではなく継続することが大切である。

## 午後 フォーラム第2部 実践発表の感想

### ③外部と連携した学校保健委員会

「いきいき健康宣言！

～健康な生活について考えよう～

伊豆の国市立大仁中学校 宮崎典子養護教諭

- ・複数の専門家(講師)を招く形態が珍しくて印象的であった。
- ・子供たちが自分でテーマを選んで話し合うことにより健康課題を意識できていた。

### ④地域につながる学校保健委員会

「心の健康づくり」

藤枝市立藤枝中学校の学校保健委員会をVTRにて紹介

- ・学校だけでなく地域が同じ課題に取り組むことで地域を巻き込むことができると思った。
- ・学校保健委員会が学校経営計画の柱の一つになることに驚いた。